

STAX electrostatic ear speaker system

SR-5



★音の再生，というよりは，コンサート・ホールを再現する，スタックスのイヤ・スピーカーシステム

イヤ・スピーカーSR-5 およびSR-XMK.3は，人間の鼓膜にくらべその厚さ1/100以下という極薄のフィルムを，静電気力で，正しく，歪を伴うことなく振動させるコンデンサー型ヘッドフォン。大きい剛性と広い放射面積を必要とするダイナミック型スピーカーの振動板とは根本的に振動様式が異り，全音域にわたり，過渡歪，位相歪，変調歪の悪影響がなく，ロー・レベルの直線性が抜群，その上，直接，音を耳に送り込むので，リスニング・ルームに不可避の歪（残響および極端なピークとディップ）がありません。

その高忠実度はHearing is Believing（百見一聞に如かず）の文字どおり，ひとたび聴けば必ず人を魅了してしまいます。

SR-5，これは既に音楽愛好家をはじめ，放送局，レコード会社など，プロ用としても確固たる名声を獲得しているSR-3の改良型。これを，さらに徹底的に改良した高級型がSR-X/MK.3。その差は，振動膜が4μ厚から2.0μ厚に，固定極の精度が高いものになり，耳当パッドがエンクロジュア型からプレッシュア型に改良されたことにより，情報量が多くなり，分解能が良くなり，その臨場感はいわゆる自然で，今まで聴くことのできなかった《音のマイクロコスモス》を再現するものです。

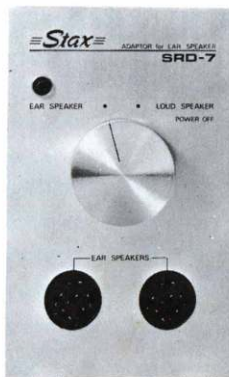
SR-X MARK 3



SRD-6

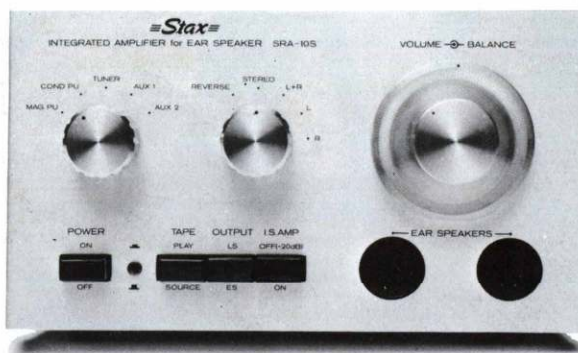


SRD-7



SRA-10S

イヤ・スピーカーの性能をフルに発揮させるインテグレートッドアンプとして製品化されたSRA-10Sは，人為的な音造りの要素であるトーンコントロールやラウドネスを除外し，結合ケミカルコンデンサーや出力トランスを取除いて，DC～200KHzまでのあらゆる入力信号をそのままの形で増巾する事に徹しました。



★イヤ・スピーカーの使い方 ①

イヤ・スピーカーを一般のステレオ・アンプにつなぐ時必要になるのが，アダプターSRD-6又はSRD-7，いずれも，イヤ・スピーカーに必要な信号電圧を取り出すマッチング・トランス（左右1対）と，そのプッシュ・プル電極にバイアス電圧を供給する電源部からできています。ふつうの用途にはSRD-6で充分ですが，特にSR-X/MK.3のような高忠実度イヤ・スピーカーには，高性能トランスを使ったSRD-7が適しています。アダプターは非常に低歪に設計されているので，アンプ（メイン・アンプ）の質が良いほど忠実度の高い再生が可能となります。

★イヤ・スピーカーの使い方 ②

RIAA イコライザーを内蔵し，1mV級のカートリッジを使って1Vの出力を後部端子より取り出せて，プリ・アンプとしても優れたシステムを構成できます。

SRE-15



SRE-B3



★イージー・リスニングのためにアンプから離れて，アーム・チェアやソファにゆったり身を沈めて音楽に浸るそのとき，延長コードSRE-15はホントウに便利なものです。増設用コンセントSRE-B3をSRE-15と併用する事により，イヤ・スピーカーを更に2台接続できます。

SRC



★アンプ自作派のためにイヤ・スピーカー用の6極コンセントを別売しております。